

はじめまして。4月から中央手術部に配属となりました長岡千秋です。弘前医療福祉大学を卒業し、地元むつ市へ帰ってきました＼(^o^)/

手術部は手術を受ける患者さんがこられる所です。学校や実習では習わなかった分野の手術部に配属が決まったときは不安も多くありましたが、職場の先輩たちやプリセプターに支えられながら、毎日楽しく働くことができています☆

みなさんは「フローレンス・ナイチンゲール」という人物を知っていますか？彼女は看護の母と呼ばれる人物です。ナイチンゲールは著書の「看護覚え書」でこう記しています。

「看護とは患者の生命力の消耗を最小にするために整えること」

手術を受ける患者さんは手術・麻酔侵襲、皮膚・神経障害、体温変動など生命力が消耗しやすい状態になります。

そんな状態になるからこそ、どうしたら患者さんの生命力の消耗を最小にできるのかを考え、実践するのが手術部看護師の面白さであり、やりがいだと感じています。

働いて7ヵ月が経とうとしています。まだまだ未熟な私ですが、患者さんが安心・安全に手術が受けられるようこれからも頑張っていこうと思います(#^.^#)

PS：写真は、先日器械だしデビューをした時のものです。よくドラマでこんな光景みえますよね？

最初だったので器械の渡し方や糸の持ちかた、手術前の準備の仕方などを教わりました。

